

# 日本服薬支援研究会 第11回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

## 簡易懸濁法の 正しい知識と正しい手技を 身につけよう!

**開催日時** 2025年7月13日(日) 9:55 ~ 15:30 (55分の休憩を含む)

**開催形式** ZOOM Meetingを用いたLIVE配信 \*事前参加申し込み必要

**参加申込** 以下のURL もしくは右記のQRコードよりお申込み下さい。

申込期限 2025年6月25日 定員 40名(先着順)

\*第1回~第10回のWeb実技セミナーと同一内容となっています。

\*プロジェクターや大型モニター等を用いて、複数人でご参加いただくことは出来ません。お一人様ずつお申込みください。

<https://fukuyaku-event20250713.peatix.com>

**参加費** 会員 6,000円/J-HOP会員 8,500円/非会員 11,000円

\*キャンセルによる参加費の返金は出来ませんのでご了承ください。

\*非会員の方で、参加にあたり、事前に下記URLから研究会に入会(入会費5,000円)した場合は、会員としてお申込下さい。

<https://asas-sys.jp/member/register/>

03484ae5305d53acfa5c104324860df01c575ce1

\*参加費には、資料代、材料代(実習薬品、チューブなど)、郵送料等が含まれます。

**認定単位** 日本服薬支援研究会/簡易懸濁法認定制度(2単位)

日本老年薬学会認定制度「実技実習等:11-D 簡易懸濁法」

(受講者による日老薬への申請が必要) 申請中

日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度(3単位) 申請中

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(3単位) 申請中

**お問合せ先** 原則、メールにてお問合せください。

日本服薬支援研究会 担当:小林一男、熊木良太

E-mail:fukuyaku.event@gmail.com



# 第11回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

## 簡易懸濁法の正しい知識と正しい手技を身につけよう！

### プログラム

9:30 会場（早めに接続確認してください）

9:55 開会・連絡事項

10:00 講義「簡易懸濁法の基本と製剤学」

倉田なおみ先生（昭和医科大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授・臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授）

10:55 実技講習 A ブレイクアウトルームにて

1ルーム10名程度（指導薬剤師1名＋認定薬剤師1名＋受講生8名）で実施

12:30 昼食・休憩

13:25 実技講習 B ブレイクアウトルームにて

1ルーム10名程度（指導薬剤師1名＋認定薬剤師1名＋受講生8名）で実施

14:35 講義「実技セミナー終了後の解説」：倉田なおみ

15:20 質疑応答：倉田なおみ

15:30 閉会・解散

### 注意事項

＊実際の医薬品を用いた実習となります。参加申込完了後、使用する医薬品等のご指定の住所へ郵送いたします。お取り扱いには十分に注意いただき、各自の責任で廃棄ください。

＊お一人ずつ手元を確認しながら実習を進めますので、1人1台のPC、カメラ・マイク・イヤホン（ハウリング防止のため）をご用意ください。携帯からのアクセスは、実習に支障がありますので使用しないでください。

＊Web環境はできる限り有線で接続し、早めに入室してカメラ、マイクの状態をご確認下さい。

＊セミナーの様子画面キャプチャ機能による録画やスクリーンショットによる写真の撮影はご遠慮ください（実習時にご自身で行った崩壊懸濁状況の撮影などは構いません）。

＊簡易懸濁法認定薬剤師要件の実技セミナー1回分（2単位）の取得が可能です。

＊日本老年薬学会認定制度「実技実習等：IⅡ-D 簡易懸濁法」の認定は、実技セミナー終了後にお送りする参加証で、参加者が申請して下さい。詳細は日本老年薬学会認定制度の「認定要件」をご確認下さい。

＊日本薬剤師研修センター及び日病薬病院薬学認定薬剤師の何れかの研修認定も取得可能です（申請中）。申込の際に薬剤師免許番号を記入して下さい。

＊途中参加・途中退出・中座された場合、いかなる理由でも研修認定単位は発行されません。

### 事前準備

＊実技セミナーでは、以下の物品等を使用いたします。事前にご準備をお願いいたします。

□温度計（可能であれば。お湯の温度の確認に使用します）

□攪拌棒（割り箸などで結構です）

□ペンチ（無ければ、錠剤に亀裂を入れられる硬いもの）

□お 水（水道水やペットボトルのお水など）

□計量カップ（お湯200mLが量れて、全量400mL以上入る耐熱性のプラスチック製のもの）

□熱 湯（約100℃のお湯を使用します。ポット、ケトル、やかん等で事前に沸かして下さい）

□廃液入れ（懸濁液のチューブ通過後の回収に使用します。ペットボトルで代用できます）

□ペーパータオル（ティッシュペーパー）、布巾など、ゴミ入